

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
富士山の民話		第2章⑤ P.22	
教科(領域)等	国語科	学年(分野)	第3学年(読むこと, 伝国)





### 1. 教材のねらいと概要

地域で語り継がれてきている民話に触れ、親しむ。  
山梨で語り継がれてきた富士山にまつわる民話を紹介している。

### 2. 活用例

教科名等	国語	単元(題材)名等	三年とうげ(光村図書)
活用場面		活用のポイント	
民話や昔話を紹介する言語活動の導入で活用する。		山梨にも各地域に語り継がれてきた民話があることを知り、「山の背くらべ」の続きを想像したり調べたりすることで、民話への関心を高める。	
			時間 45分

### 3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P.22 	昔は、八ヶ岳の方が高かったというお話を聞いたことがあるよ！富士山と八ヶ岳の「山の背くらべ」とはどんなお話かな？	民話の続きを想像したり調べたりして興味を持つことで、他の民話への関心を高め、民話を紹介するという課題(言語活動)への見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の創作</li> <li>・学校図書館、インターネットの活用等による。</li> </ul>
P.22 	富士山と八ヶ岳の「山の背くらべ」のお話は、方言を交えて語り継がれてきています。どんなお話になっているのか少し読んでみましょう！下のあらすじで内容を確認してみましょう。		
P.22 	お話の続きが知りたいあ。どうやって背くらべをしたのだろう？		
P.22 	お話の続きを調べてみよう！「山梨の民話」や「富士山と八ヶ岳の背くらべ」をキーワードに、図書館やインターネットで探してみましょう！そして、みんなも地域の方言を使ってお話を伝えてみよう！		

### 4. 写真・資料の補説

資料の「山の背くらべ」は藤巻愛子さんによる再話である。

・藤巻愛子さん  
旧塩山市(現甲州市)出身。山梨むかしがたりの会代表。日本民話の会会員。日本口承文芸学会会員。県内の100を超える民話や昔話を甲州弁で語っている。

### 5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・編者	発行年
山梨の民話	偕成社	日本児童文学者協会 編	2000年
読みがたり 山梨のむかし話	日本標準	山梨国語教育研究会 編	